

質 疑 回 答 書

- 1 工事番号 債浄戸施5第3号
- 2 工事名 薬品注入設備更新工事
- 3 管理番号 000001

上記工事につきまして質疑事項がありましたので、下記のとおり回答いたします。

質 疑 事 項	回 答
1. 関連工事がありますでしょうか。予定されている場合は、工事内容、工事工程をご教示いただけないでしょうか。	1. 関連工事については、監視制御設備機能増設工事があります。工事内容は本工事にて更新する機器の制御等について、中央監視制御装置に取り込む工事です。工程は本工事の進捗状況に合わせて行います。
2. 今回工事の機器について、工場立会検査は行う予定でしょうか。実施の場合、対象となる機器をご教示いただけますでしょうか。	2. PAC・苛性注入制御盤、次亜注入制御盤について、工場立会検査を行う予定です。
3. 工事用電力及び用水、試運転薬品は、無償にて御支給いただけるものと考えてよろしいでしょうか。	3. 用水、試運転薬品は無償にて支給と考えて頂いて問題ありません。また、工事用電力についても基本的には、無償にて利用が可能です。ただし、本工事施工の際、浄水施設の都合により、利用できなくなる場合がありますので、契約後の協議事項とさせていただきます。
4. 現場事務所、資材置き場等の用地は、場内敷地を無償にて借用できるものと考えてよろしいでしょうか。	4. 無償と考えて頂いて問題ありませんが、設置場所については協議にて決定します。
5. 概略工程をご教示いただけますでしょうか。（予定されている工事可能時期、機器納入想定時期、施工不可の時期など）。	5. 施工全てが不可となる時期はありませんが、突発的な自然災害・気象状況による原水（河川）水質の悪化・点検作業等により、施工場所や期間の調整が必要な場合があります。そのため、工事工程は契約後に機器納期の状況を見極めながら、随時協議を行い決めたいと考えています。
6. 機器の製作納期が掛かる事が想定され、また、設備を運用しながらの更新工事のため、工事期間を要します。現時点では15ヶ月程度の工期延長が必要と考えますが、ご協議いただけるものと考えてよろしいでしょうか。	6. 工期延長（延長期間）については、機器製作（納期）等に係る社会情勢を考慮するとともに、やむを得ない場合には、協議させていただきます。
7. 新設2号PAC注入機、2号苛性注入機を仮設置しますが、鋼製架台（材質：SS400）にて固定と考えてよろしいでしょうか（薬品注入機室切替方案STEP3）。	7. 問題ありません。

8. 年間を通して、PAC注入設備、苛性注入設備、次亜注入設備の設備停止可能期間はありますか。ある場合は期間をご教示いただけますでしょうか。

9. 設計資料に床塗装（耐薬品塗装）がありませんが、基礎含めて、床塗装（耐薬品塗装）は実施しないと考えるとよろしいでしょうか。

10. 次亜注入管（注入点まで）更新について、前次亜、中次亜、後次亜と順次注入停止をしての更新と考えるとよろしいでしょうか（中次亜は分配槽更新を含む）。

11. 中次亜注入管は、口径32Aの場合、圧力損失が大きく注入機の吐出圧にて対応不可となる可能性があります。サイズアップ（50A）での対応としてよろしいでしょうか（図面M-13）。

12. 苛性ソーダ貯蔵槽は、予備槽がありませんので、内容液を抜いての差圧液位計、直読式液位計等の更新作業時は、苛性注入が出来ません。液位計等の更新作業期間（苛性注入が出来ない期間）は、数日から5日程度の停止を想定していますが、問題ないかと考えるとよろしいでしょうか。

13. 給水配管の保温範囲を、図示などでご教示いただけますでしょうか（設計書P.5）。
また、次亜配管の保温範囲は、U字溝内を除く屋外配管のみと考えるとよろしいでしょうか。

8. PACと次亜注入設備については、年間を通して稼働しており、設備を全て停止することはできません。

苛性注入設備については、夏季以外の時期で原水水質が安定している場合は停止することが可能です。

※全ての設備について、1日のうち、3時間程度の一時的な停止は可能です。

9. 耐薬塗装は行いません。

10. 次亜注入配管については、前次亜、中次亜、後次亜を順次更新（順番は協議）しますが、長時間の注入停止はできませんので、新設配管を先に施工して、2～3時間程度の取水停止にて既設配管との切替を行う方法を考えています。

11. 設計通りの積算でお願いします。また、配管口径のサイズアップについては、契約後、必要に応じて協議いたします。

12. 原水（河川）水質が安定している場合は、苛性注入設備を5日間程度停止することは可能です。また、念のために、浄水場にて仮設タンクを準備する予定です。ただし、急激な気象状況の変化による原水水質の悪化が予想される場合等には、協議事項とさせていただきます。

13. 給水配管の保温範囲について、電子入札システム上で図示できないため、水道局ホームページの一般競争入札（工事・コンサル）内「質疑回答」に図面を掲載しましたので、ご確認ください。

（<https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/jyogesuido/suido/jigyousha/nyusatsu/kaitoshu.html>）

掲載図面に記載の、更新を行う給水配管は全て保温範囲です。

また、次亜配管についてはご推察の通りです。